

3. 期待される整備効果

- ・三春・田村方部から郡山市街地や高速道路までの所要時間が短縮されます。
(国道4号から三春町熊耳地内の約15km区間について、現道通過に対してバイパスを活用すると約7分の短縮)
- ・交通分散により、三春市街地の渋滞が緩和されます。
- ・緊急時の代替路を確保することで、災害に強い道路ネットワークが確保されます。



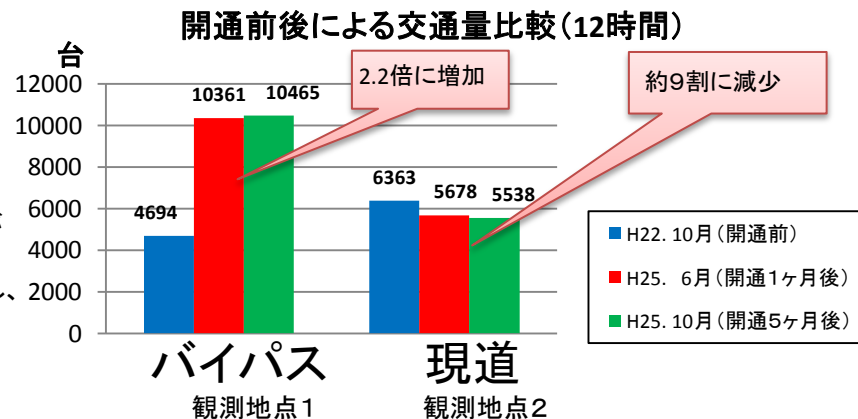
4. 検証



全線開通1ヶ月後に交通量を調査しました。

- ・バイパス(観測地点1)で、**開通前の約2.2倍に増加**
- ・現道(観測地点2)で、**開通前の約9割に減少**

また、開通5ヶ月後の調査においても、その傾向が継続していることを確認しました。
以上の結果から、開通により利便性が大きく向上し、利用者が大幅に増加していることがわかります。



観測地点1 : 郡山東バイパス×県道二本松金屋線交差部 (郡山市富久山町北小泉地内)
観測地点2 : 国道288号の現道部 (郡山市舞木町宮ノ前地内)

5. おわりに

実際に走行してみると、郡山と三春・田村方部の所要時間は開通前と比較して10分ほど短縮し、また、現道においてはこれまでの混雑が見られなくなっていると感じられます。

バイパスの開通により期待された整備効果が発現し、国道288号の復興を支援する道路としての役割はますます大きくなるものと考えています。

開通式は5月のさわやかな晴天のもと、知事が出席し行われ、大田小学校児童による「きぼう橋」の合唱も開通に花を添えました。

最後に、事業に関係された皆様に対しここに感謝の意を表します。



佐藤知事らによるテープカット



大田小児童による「きぼう橋」合唱